

県産種雄牛「幸花久」号産子出荷 130 頭超える

期待の山形県産種雄牛「幸花久」の産子が12～3月開催の県内子牛市場において、133頭(去勢79頭、雌54頭)上場・取引された。3月1日の置賜と3月6日の最上市場には一気に計97頭が上場され、取引頭数1位の種雄牛となった。また、1月9日の最上子牛市場では、「幸花久」産子出荷セレモニーの後、初セリが行われ、注目の上場1号牛が1,317千円(税込)で取引されると家畜市場内は熱気に包まれた。

これまでの取引結果は下表のとおり。今後も上場頭数が大幅に増えることから、県内子牛市場の活性化につながるものと大いに期待される。

表 山形最上市場(12/5、1/9、3/6)および置賜子牛市場(12/7、3/1)の取引結果

		頭数	平均価格 (円;税込)	体重 (kg)	日齢 (日)	kg単価 (円/kg)	日齢単価 (円/日)	日齢体重 (kg/日)
幸花久	去勢	79	762,576	276	257	2,762	2,966	1.074
	雌	54	685,788	259	275	2,645	2,492	0.942
	計	133	731,399	269	264	2,717	2,766	1.018
全頭*	去勢	514	788,530	302	272	2,607	2,897	1.111
	雌	373	735,688	272	275	2,700	2,677	0.991
	計	887	766,309	290	273	2,644	2,804	1.061

※「幸花久」産子は除く

上場1号牛 249日齢,体重282kg



上場1号牛の取引



「幸花久」生産者へ感謝状贈呈



↑ 写真は全農山形最上子牛市場(H31.1.9)

(ウラ面に发育データ)

「幸花久」産子の発育状況（速報 3）

12月の最上子牛市場を皮切りに、3月開催までの県内子牛市場において、計133頭の「幸花久」産子（以下、産子）が上場、畜産試験場では、全産子について上場時に測尺しており、その結果は以下のとおりであった。産子は、平均以上の良好な発育を示しており、特に去勢のほとんどで平均～上限前後の体高であった。今後も産子の発育性調査を継続し、県産種雄牛「幸花久」のPRに努めていく予定である。

図 「幸花久」産子上場時の性別体高、胸囲、体重（比較；全和発育曲線）

